

薬学部

■薬学科

薬学を基盤とし、薬剤師・研究者・教育者として、薬物療法・医薬品創製およびそれに資する科学全体の向上に、情熱・倫理観・使命感をもって貢献できる人材を求めています。薬学部の教育方針は、多様な薬学分野を基盤とした幅広い知識と技能を身につけ、薬学を含む種々の職能領域と相互連携しうる能力をもち、自ら活躍できる場を積極的に開拓できる可能性をもった人材（インタラクティブ YAKUGAKUJIN）を育成することです。したがって、既成概念にとらわれない柔軟な思考能力をもち、向学心に満ち、未踏分野の開拓精神に溢れた人材を募集します。

●求める人物像

関心・意欲・態度

薬学にかかわる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

探究力

自分が関心をもったことを深く掘り下げて探究し、その中から新たな問題・課題を発見できる人

表現力

自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の立場に配慮して表現できる人

知識・教養

薬学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*基礎的かつ広範な知識や教養を有する人

思考力・判断力

修得した知識・教養・技能を基盤に、思考を深化・展開させ、科学的エビデンスに基づいて未知の課題に対して適切な解を判断できる素養を有する人

協働性

多職種の人と協働して活躍できる素養を有する人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—化学および基礎的な物理・生物の知識

数 学—理系数学についての基本的な知識・技能と論理的思考法

英語、国語—基礎的な読解力・表現力・発信力・コミュニケーション能力

そ の 他—将来、薬剤師・研究者・教育者として活躍するためには、上記以外の科目もおろそかにせず、また部活やボランティア等、様々な活動に積極的に取り組むことで、幅広い視野と高い倫理観、豊かな人間性を育ててもらいたい。

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を基盤に柔軟な科学的思考のできる人を求めるとともに、豊かな人間性と倫理観のある人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を持ち、化学の学力が顕著な人を求めます。

本学部の教育方針への理解・学ぶ意欲等を深く評価するため集団面接と志望理由書を課し総合的に選抜します。学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜創薬研究者育成型（長井枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、日本薬学の開祖である長井長義博士の進言により、「薬の創製（創薬）」を目的として設立されました。したがって「薬の創製（創薬）」に伝統をもち、創薬研究者を育成する環境を有することに強みがあります。創薬研究者育成型（長井枠）は、創薬に強い関心を示すとともに、高等学校等時に意欲的に取り組んだ主体的な活動を活かし世界に通用する創薬研究者をめざす人を求めます。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、世界に通用する創薬研究者・高度医療薬剤師の育成に加えて、地域医療を担う薬剤師の育成機能を有しています。先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）は、薬剤師の不足する地域の医療を担う薬剤師のリーダーとして社会に貢献する人を求め、世界と地方を繋ぐ多様な入学者の受け入れを行います。

※本選抜はいわゆる「地域枠」ではありません。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
論述レポート	推薦Ⅱ (長)	薬学に関連する講義を聞き、論述形式のレポートを作成する (全て日本語)。
小論文	推薦Ⅱ (地)	日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。
集団面接	一般 (前期) 一般 (後期)	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者により個人面接を行う。提出書類や論述レポートもしくは小論文の内容の確認を行う場合がある。
志望理由書	一般 (後期)	本学部への志望理由について、これまでの学生生活等の状況を踏まえて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。アドミッション・ポリシーに基づいて評価を行い、可否を判定する。
学びの設計書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	【長井枠】 大学入学から大学院を経て創薬研究者までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。 【地方貢献枠】 大学入学から大学院を経て地方もしくは薬剤師の不足する地域に貢献する薬剤師までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。
活動報告書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動 (部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動)」「資格・検定等 (参考)」を評価する。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	【一般 (前期) (後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ (長井枠) (地方貢献枠)】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般 (前期) 一般 (後期)			○	○	○	
論述レポート	推薦Ⅱ (長)		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅱ (地)			○		○	
集団面接	一般 (前期) 一般 (後期)	○		○			○
個人面接	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	○	○	○			○
志望理由書	一般 (後期)	○					
学びの設計書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)		○	○			
活動報告書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	○	○				
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)				(総合判定の参考)		
		○					○

* 該当選抜区分内の「(長)」は「創薬研究者育成型 (長井枠)」, 「(地)」は「先導的地域医療薬剤師育成型 (地方貢献枠)」を示す。